

昨春に小学生の環境意識向上の実証研究が国の科学研究費助成事業に採択され、今春から浜松市の小学校で新たな活動を始めた。大学、大学院で建築学を学び、建設会社で働いた後、2013年に静岡文化芸術大学の講師に。16年から准教授。茨城県出身。42歳。

— 小学校で活動を始めた狙いは。

「子どもの頃からエコ活動を通じて自然を守る意識を根付かせ、自然に優しい住環境作りの知識を普及させたい。つる性の植物を使ったグリーンカーテン作りもその一環で、自然をうま

小学生の環境意識向上を図る活動に取り組む

なかの たみお さん (中区田町)
中野 民雄

この人



く利用する知恵を養ってほしい」

— 活動のポイントは。

「子どもの経験や知識を家庭でも展開させていく。親は子どもの意見は素直に聞く。活動を促されれば、煩わしさを感じずに行動するようになり、エコを意識した住環境作りが普及しや

すいと考える」

— 学校に望むことは。

「自分が行った活動をきっかけに、能動的に環境保護に関するワークショップを実施するようになってほしい」

— 子どもたちに期待することは。

「大人になった時に今度は自然の大切さを伝える側になってくれればと思う。時間はかかるが、世の中の自然に対する意識が将来大きく変わってくれていることを願っている」

◇ ナノブロックで世界遺産を作ることが趣味。